地球社会基盤学専攻	研究分野	地盤工学・地盤環境工学	Lab. ID GC04
研究室Webサイト	https://sites.google.com/view/soilmechkanazawa		

研究課題の概要

研究課題は、地盤に関わる応用力学分野および環境資源エネルギー分野、そして地盤工学分野に大別されます。応用力学分野としては、地盤や構造物の挙動を簡単に近似的に解くための方法や、厳密に解くための数値解析手法の研究を行っており、必要に応じてソースコードの作成を行います。環境資源エネルギー分野としては、地下水資源や熱エネルギーを対象に、地域の賦存量の現状の評価と将来予測，持続的利用に必要な技術の開発について、フィールドワークと数値解析の両面から研究を行っています。また、地盤工学分野としては、特に不飽和土力学およびその工学問題への応用に関する研究を行っています。不飽和土の力学的・水理学的挙動と、不飽和土地盤における構造物と土の相互作用のメカニズムを解明するために、実験及び解析を行っています。

博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等

M1では、授業を出席するために多くの時間を割きます。研究テーマ以外の話題についても大学院レベルの授業を受けることで、自身の研究にフィードバックすることを期待しています。M2では、時間のほどんどを自身の研究のために使います。週１回程度の全体ゼミでは、M1，M2および博士院生全員が参加し、地盤工学に関する全般的な知識を深めています。その上で、研究テーマごとに週１回程度のグループゼミを行い、研究内容に密接に関係した知識の習得を目指しています。個々の研究がある程度進むと、指導教員とのマンツーマンのディスカッションを行って、研究をより進展させています。

研究室生活の紹介等

当然のことですが、研究室では院生一人一人に専用のデスクとパソコンが用意され、何時でも研究を実施できる環境が整っています。夜型の学生も少なくありませんが、研究打ち合わせや学生間のコミュニケーションを増進させるために、昼間の決まった時間には学校に出ていることを求めます。最近は非英語圏からの留学生も多く、実験やゼミでは構成員全員の共通語である「英語」を使う頻度が高くなっています。

教員からのメッセージ

研究室内の他の院生の研究は自分と関係がないと切り捨ててしまうのではなく、同じ地盤工学の話題として関心を持ってほしいと考えています。そのためにも、研究グループごとに学生間のコミュニケーションを充実させ、学生同士で情報を交換したり、教えあったりする雰囲気を大切にしたいと考えています。大学院生の就職先は、総合建設業（ゼネコン）、建設コンサルタント、JR、高速道路会社、独立行政法人（鉄道・運輸機構）、公務員（地方上級）などとなっています。

研究室連絡先メールアドレス	小林俊一（こばやし しゅんいち）<koba@se.kanazawa-u.ac.jp> 阪田義隆（さかた　よしたか）<y-sakata@se.kanazawa-u.ac.jp> 熊曦（ゆう　き）<xiong@se.kanazawa-u.ac.jp>